

加熱炉・熱処理炉増設事業に係る環境影響評価方法書に対する  
環境の保全の見地からの意見

調査、予測及び評価の手法について

(1) 大気質について

環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）において、大気質の調査地点として北九州市一般環境大気測定局である戸畑観測局を選定しているが、戸畑観測局は対象事業実施区域の年間主風向の風下に位置していないため、戸畑観測局のほかに、対象事業実施区域の風下に当たる適切な地点を別途選定し、環境影響評価を実施すること。

(2) 廃棄物等について

方法書において、事業の実施に伴い発生する産業廃棄物及び副産物の種類、量及び処理又は処分の方法等については、類似事例等を参考に、事業計画に基づき予測する旨が記載されているが、その予測根拠を環境影響評価準備書に記載するとともに、事業の実施に伴い発生した産業廃棄物及び副産物については、できる限り再資源化すること。